

2025年1月7日

各位

独立行政法人都市再生機構中部支社

# 春日井製菓株式会社とUR都市機構による 高蔵寺ニュータウンを元気にする 「団地味ラムネプロジェクト」!

春日井製菓株式会社(以下「春日井製菓」と呼ぶ)と独立行政法人都市再生機構中部支社(以下「UR都市機構」と呼ぶ)は、2024年6月27日に締結した「地域連携・協力に関する連携協定」の具体的な取組みとして、日本3大ニュータウンの一つである高蔵寺ニュータウン(愛知県春日井市)を舞台に、新発想の取組み「団地味ラムネプロジェクト」(以下「本プロジェクト」と呼ぶ)を始動します。これにより、地域コミュニティの活性化や地域のまちづくりを一層推進していきます。



第1弾は「高蔵寺ニュータウンの幸せな思い出」21文字の募集。選ばれた300の思い出はオリジナルラムネ商品の個包装にデザインされます。他にも、お菓子を活用したワークショップなどを通して多様な世代がいきいきと暮らし続けられる住まい・まち“ミクストコミュニティ”の実現を目指します。

## 本プロジェクトの背景

UR都市機構は、全国に1,421の団地を保有し、約70万戸の住宅を管理しています(※2024年3月末時点)。全国で少子高齢化が進み、高齢単身世帯の増加や住民の孤立、自治会や子ども会などの地域コミュニティの希薄化が進む中、UR都市機構はミクストコミュニティの実現を目指し、UR賃貸住宅で、「地域医療福祉拠点化」を推進するとともに、ウェルビーイングな暮らしを実現すべく、地域関係者を始め、多様な主体との連携を進めています。

2024年6月に、一層の効果を生み出すべく、愛知県にゆかりのあるお菓子と“おかしなこと”の両方を活用した様々な活動を行っている春日井製菓と協働していくこととし、地域連携協定を締結しました。

### 春日井製菓とURの地域連携協定内容

#### 【目的】

UR都市機構の有する団地及びその周辺地域において、それぞれが有する資源を活かして、相互に連携・協力することにより、まちづくり及び地域コミュニティ活動の活性化に資すること。

#### 【内容】

- ・団地等のコミュニティの活性化、賑わい創出に関すること
- ・地域で活躍する人材の発掘や活動支援に関すること
- ・前二項の目的達成のための共同研究に関すること
- ・情報発信に関すること



## 春日井製菓と協働する理由

春日井製菓は、2022年に、「面白くてワクワクする実験的な試みで、社会と会社を明るくする」をミッションに掲げた新部署「おかしな実験室」を設立し、愛知県を中心とした観客参加型トークイベントやお菓子を使った料理コンテスト、多業種の企業とコラボレーションしたスクールイベントなど、多様な企業・地域・コミュニティの活性化に数多くの実績を重ねています。また、UR賃貸住宅におけるウェルビーイングの理念や考え方についての理解が深く、UR都市機構との連携実績（「おかしなサマースクール in 愛知」ほか）も有しています。

UR都市機構は、これまでの春日井製菓との活動を通してつながった様々な団体等とも引き続き連携し、コミュニティ活性化に資する新たな取り組み創出に期待できることから、同社と協働を進めていくこととしました。

## 団地味ラムネプロジェクトとは

ミクストコミュニティの実現を目指し、まちを元気にする取り組みです。

本プロジェクトでは、団地オリジナルのラムネづくりや、お菓子を活用したワークショップ、イベントを通して、まちを元気にする取り組みを始める気運が高まるように応援します。UR賃貸住宅や周辺地域に関わる方たちがつながり、地域の良さや課題を知ることで、自分も地域も楽しくなるといった活動を、高蔵寺ニュータウンを舞台に行います。

## なぜラムネ？

ぶどう糖を主原料とする春日井製菓のラムネは、同社を代表するロングセラー商品、かつ、小さなお子様からご年配の方々まで幅広い世代に身近なエネルギー源です。また、春日井製菓は、本商品を活用した他団体との取り組み実績を有しています。私たちは本プロジェクトを通して、高蔵寺ニュータウンやその周辺地域に関わる方々が元気になることを目指して、プロジェクト名にラムネを冠しました。

## プロジェクト第1弾は「高蔵寺ニュータウンの幸せな思い出」21文字の募集。

### 選ばれた300の思い出は、オリジナルラムネ商品の個包装にデザインされます。

高蔵寺ニュータウンの魅力とは？また、団地の魅力とは何でしょうか？私たちはその答えを、高蔵寺ニュータウンに関わりをもつ皆さん一人ひとりの「幸せな思い出」だと考えました。

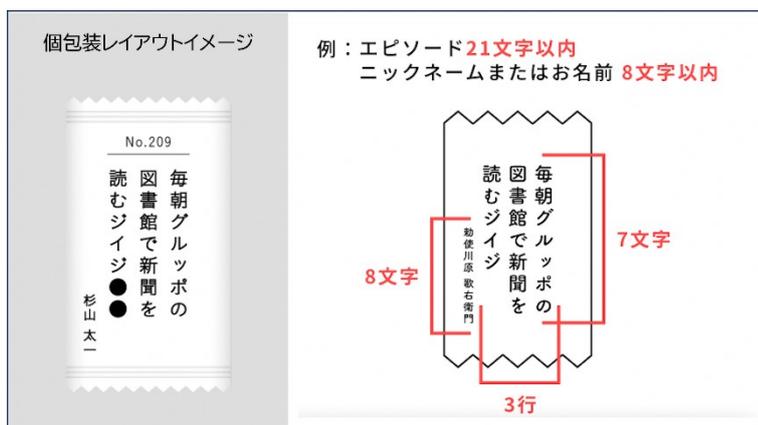
幸せを感じたできごと、場所、シーンを綴った21文字を専用サイトで募集し、選ばれた300の思い出を、ラムネをひと粒ずつ包むパッケージに印刷します。一袋には20粒程度が入り、今年の夏頃、オリジナルラムネ商品として完成予定です。

応募期間：2025年1月7日（火）14:00～2月28日（金）23:59

応募資格：現在または過去に高蔵寺ニュータウンに住んで/働いて/学んで/など高蔵寺ニュータウンに関わりのある方で、日本語で応募できる方ならどなたでもOK。

その他の詳細は、春日井製菓のプレスリリース及び応募フォームをご確認ください。

※未成年の方は、保護者の同意を得たうえで応募してください。応募の際は保護者が同意したとみなします。



<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000098.000047142.html>（春日井製菓のプレスリリース）

<https://form.run/@kozoji-danchi-aji-ramune-2024>（応募フォーム）

### 【本件に関するお問い合わせ先】

春日井製菓株式会社 広報担当（勝又 裕子）（メール）cpc@kasugai.co.jp

UR都市機構中部支社 住宅経営部 ウェルフェア推進課（電話）052-238-9284

総務部 総務・法務課（報道担当）（電話）052-238-9105

## 春日井製菓株式会社の概要

### 1 沿革等

昭和 3 年創業。昭和 23 年、春日井製菓株式会社設立。本社は、愛知県名古屋市西区。

### 2 主な業務内容

「おいしくて、安心して多くの人々に愛され続けるお菓子作り」を経営理念に掲げ、愛知県内4工場及び兵庫県内の工場  
で、キャンディ、グミ、ラムネ、豆菓子、金平糖、ゼリービーンズ、ちやいなマーブルを製造・販売しています。2022 年 5 月、  
社外に仲間をつくる専門部署「おかしな実験室(通称:おか験)」を社内公募で立ち上げたことで UR 都市機構との接点が生  
まれ、今回の協業に発展しました。<https://www.kasugai.co.jp/>

## 高蔵寺ニュータウンの概要

春日井市の東部に位置する日本住宅公団(現UR都市機構)が開発したニュータウンです。日本3大ニュータウンの1つであ  
り、面積は約 702 ha、ニュータウン内には、UR賃貸住宅8団地・約 6,800 戸が立地しています。昭和43年に入居が開始  
され、現在の人口は4万人強です。春日井市は、平成 28 年、高蔵寺ニュータウンの再生を目的とした「リ・ニュータウン計画」  
を策定しており、UR都市機構は、春日井市と連携してニュータウン再生に取り組んでいます。

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとと  
もに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」  
の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、  
「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまち  
づくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでま  
いります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



街に、ルネッサンス



UR 都市機構



UR 都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。